取扱説明書

〈保証書付〉裏表紙についています。

HITACHI

日立 石油 ファンヒーター

OVF-H30A型

〈強制通気形開放式石油ストーブ〉

このたびは、日立石油ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の際はこの取扱説明書をよくお読みになり、ご家族全員で正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

●この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。
●この取扱説明書は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

使用前に
使用前の準備
使用方法
点検・その他

使いやすい **大きな液晶**

給油・燃焼時間が ひと目でわかる **運転残時間表示**

給油 くるっと **簡単キャップ** カチッ!

目　次

ページ

安全のため必ずお守りください

絵表示について

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書および製品への表示では、ご使用になる方への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のように区分して表示しています。その内容をよく理解してからご使用ください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、又は火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、*物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

絵表示の意味

この絵表示はしてはいけない「禁止」事項を示しています。

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

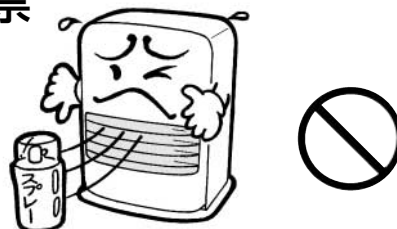
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。

●火災の原因になります

灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。

⚠警告

スプレー缶厳禁

スプレー缶を温風があたるところに放置しないでください。

●熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し危険です。

換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。

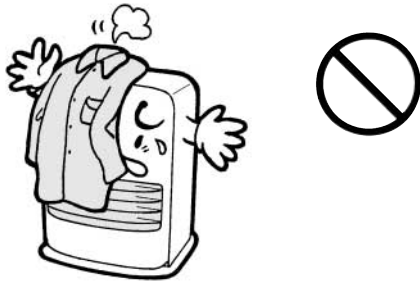
●酸素が不足すると、不完全燃焼し一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。

使用中は必ず１時間に１～２回(１～２分)換気して、新鮮な空気を補給してください。

換気が十分に行えない場所（窓が凍結している部屋、地下室など）では、使用しないでください。

安全のため必ずお守りください

⚠警告

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。

●衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。

温風吹出口前方に布団を敷いたり、物を置かないでください。

●火災など予想しない事故の発生するおそれがあります。

可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーなどを使用しないでください。

●火災や故障の原因になります。

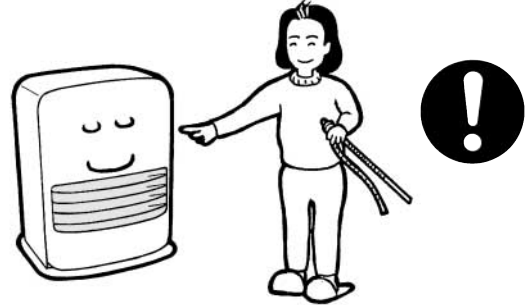
⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止

カーテン・障子などの燃えやすいもののそばでは使用しないでください。

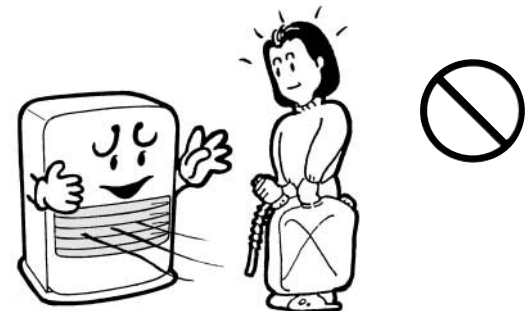
●火災が発生するおそれがあります。

タイマー運転するときも、可燃物がそばに置いてないか確認してください。

給油時消火

給油は必ず消火してから行ってください。

●火災のおそれがあります。

こぼれた灯油は、よく拭き取ってください。

居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところで行ってください。

●火災のおそれがあります。

⚠注意

油漏れ確認

給油口口金は確実に締めてください。
給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。

●口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金がはずれて、火災のおそれがあります。

異常時使用禁止

におい・すすの発生、炎の色など異常を感じたときや油漏れがあったときは使用しないでください。

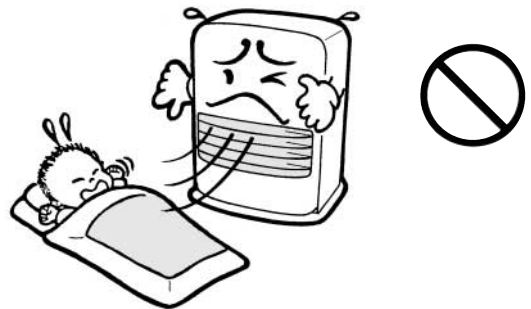
●異常燃焼のおそれがあります。

使用中に異常を感じたり、地震などの緊急の場合は、あわてずに消火してください。

ほこりの除去

フィルタは、週1回以上必ず掃除してください。

●ごみ・ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。

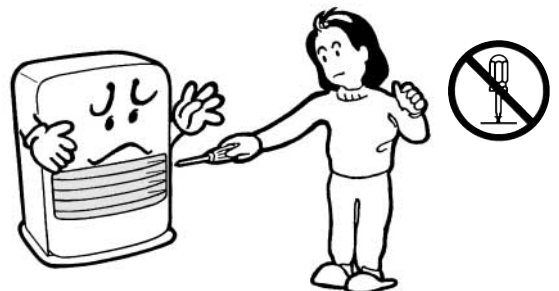
●低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

お子様や体の不自由な方を、温風が直接あたる場所に寝かせないでください。

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部（温風吹出口）に手などふれないでください。

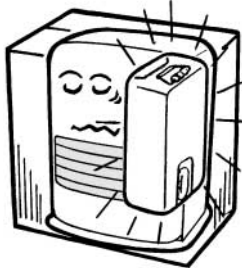
●やけどのおそれがあります。

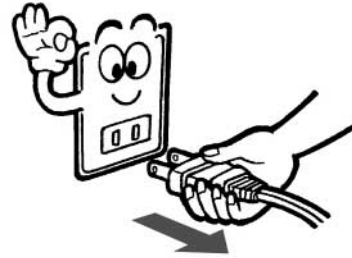
分解修理・改造の禁止

不完全な修理や改造は危険です。
故障、破損したときは使用しないでください。

●火災など予想しない事故の発生するおそれがあります。

安全のため必ずお守りください

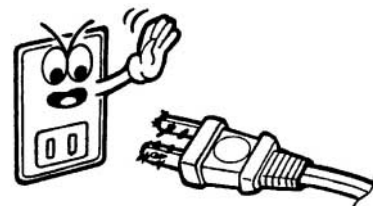
⚠注意

保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
●火災のおそれがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
●火災や予想しない事故の原因になります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
●火災や感電の原因になります。

電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物などを除去してください。
●ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

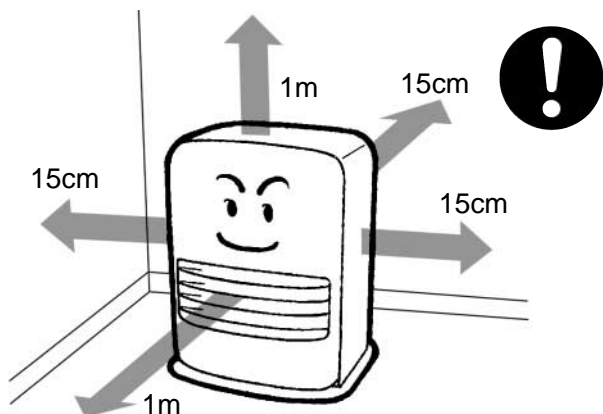
電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
●火災の原因になります。

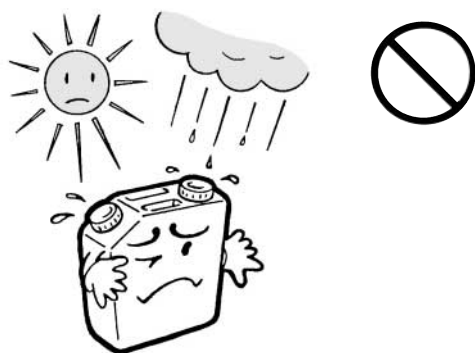
次の場所では使用しない

○風のあたる場所、部屋の出入口。
○不安定な物をのせた棚などの下。
○温室、飼育室など人のいない場所。
○可燃性ガスの発生する場所、又はたまる場所。
○水平でない場所、振動の激しい不安定な場所。
○ほこりや湿気の多い場所。
○直射日光の当たる場所。
○理・美容院、クリーニング店、塗装工場など、スプレーや化学薬品を使う場所。
○暖炉や押し入れなどストーブが囲われる場所。
●火災や予想しない事故の原因になります。

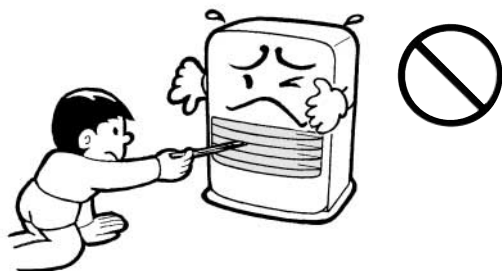
⚠注意

可燃物との距離を離す

図に示す寸法内に可燃物や障害物を置かないでください。周囲に余裕を持たせて設置してください。

●異常燃焼や火災の原因になります。

変質灯油・不純灯油は使わない

変質灯油・不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

●異常燃焼や故障の原因になります。

温風吹出口に異物を入れない

温風吹出口や本体の内部に紙、布、プラスチック、ガスライター、マッチなどの異物を入れないでください。

●火災の原因になります。

お願い

シリコンを配合したものは使用しない

シリコンを配合した枝毛用コート液やヘアートリートメント、つや出し剤(床用ワックス)などは使用しないでください。

●点火ミスや途中消火の原因になります。

熱に弱い床面にはマットなどを敷く

熱に弱いじゅうたんやフローリング･床の上で使用する場合は、熱に強いマットなどを敷いてください。

●長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。

次のことに注意してご使用ください

○ストーブに腰をかけたり、物を載せないでください。

○移動するときは、傾けたり、引きずらないでください。
灯油が漏れて火災の原因になったり、床面、じゅうたん、カーペット等を傷つけたり、本体底面の塗装がはがれて、さびるおそれがあります。

○高地（標高1,000m以上）で使用する場合は、空気が薄いので特に燃焼状態の確認と換気に注意してください。

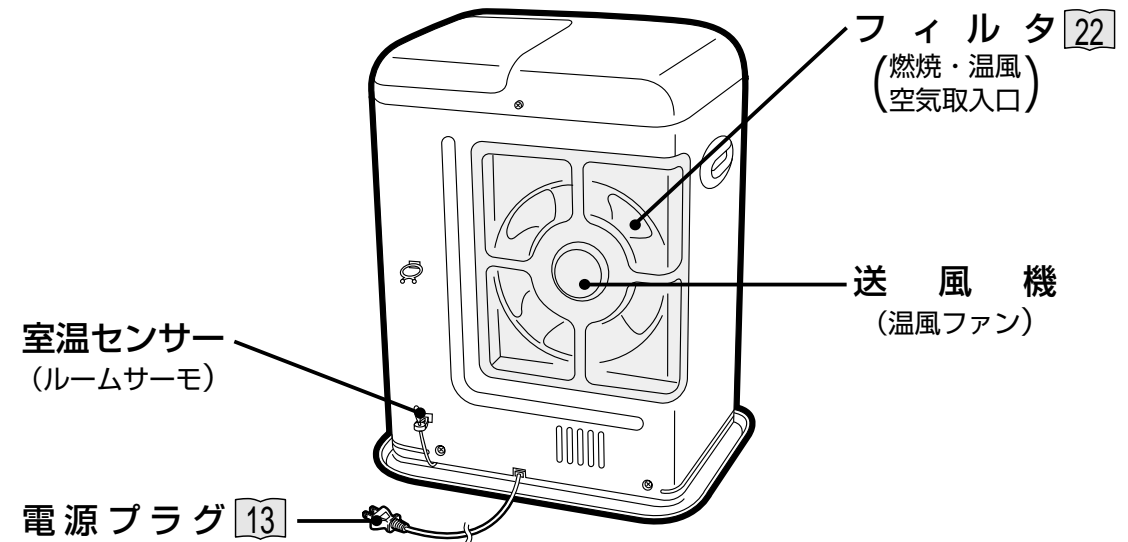
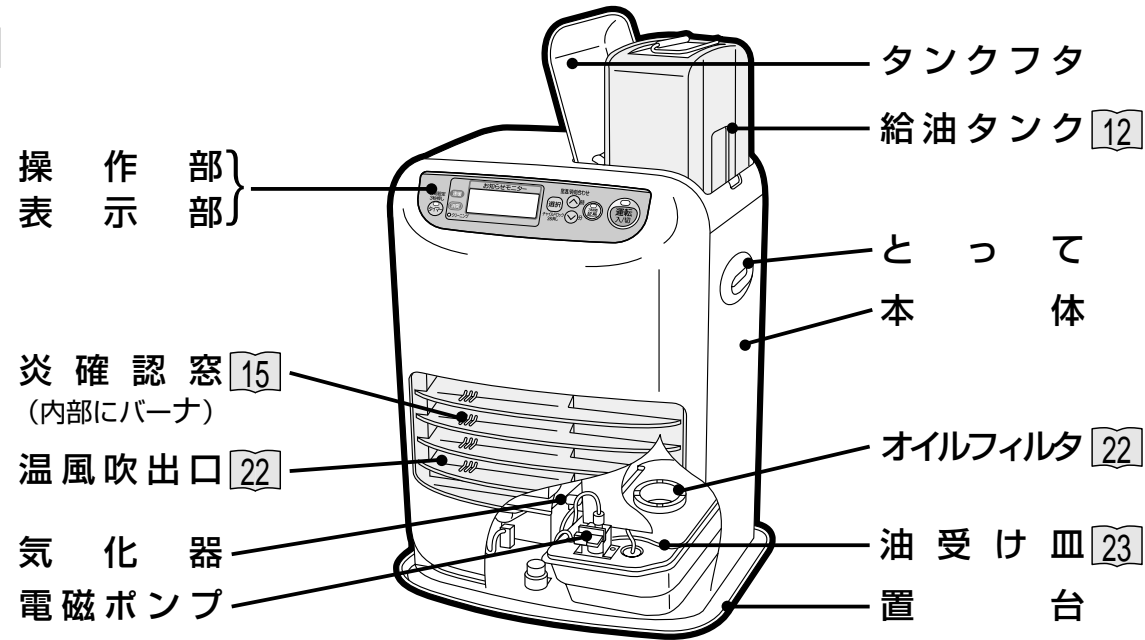
○電気治療器具を使用すると、誤動作するおそれがあります。

○この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

外観図

操作部 / 表示部
炎確認窓 15（内部にバーナ）
温風吹出口 22
気化器
電磁ポンプ
タンクフタ
給油タンク 12
とって
本体
オイルフィルタ 22
油受け皿 23
置台

操作部・表示部のなまえとはたらき

残時間表示 12・14・21
点灯…自動消火するまでの残り時間をデジタル表示します

給油表示 12
点滅…油切れです（給油バックアップ運転中）
点灯…油切れで消火しました

デジタル表示（表示例）
① 設定室温と現在室温（10〜30℃）（8〜34℃） 20 18
② 現在時刻 3:00
③ タイマー時刻 6:30
④ クリーニング CL 40
⑤ 安全装置作動 C 03
⑥ 機器故障 H 01

換気表示 26
点滅…換気してください
点灯し、運転ランプが消灯…不完全燃焼防止装置が作動して消火しました

微燃焼表示 16
点灯…微燃焼運転がセットしています

選択ボタン 16・18
- 急速点火または微燃焼運転をセットするとき押します
- チャイルドロックをセット（解除）するとき押します

運転ランプ 14
点灯…運転中です

速暖ランプ 14
点灯…速暖運転中です

タイマーボタン 20
- 朝など自動的に運転させたいとき押します
- 現在時刻をセット（修正）するとき押します

運転（入/切）ボタン 14
- 運転（点火）するとき押します
- 消火するとき押します
- タイマー運転を解除するとき押します 21

お知らせモニター / 給油 設定室温 現在室温 換気 残時間 午前 午後 88:88 微燃焼 急速点火 チャイルドロック / 速暖 / 消臭 / 時刻設定3秒押し タイマー / クリーニング / 室温/時刻合わせ 時 分 / 選択 チャイルドロック3秒押し / 3時間延長 / 運転 入/切

タイマーランプ 20
点灯…タイマーが作動中かタイマー運転中です
点滅…
- タイマー運転時刻合わせ中
- タイマー運転後自動消火しました
- ３時間運転後自動消火しました 14

クリーニングスイッチ 24
気化器をクリーニングするとき押します

消臭ランプ 14
点灯…消臭システムが作動中です

チャイルドロック表示 18
点灯…チャイルドロックがセットしています

急速点火表示 18
点灯…急速点火がセットしています

室温/時刻合わせボタン 16・20
室温のセット、または現在時刻、タイマー運転の時刻をセットするとき押します

延長ボタン 15
- 運転を延長するとき押します
- おさえめ運転をセットするとき押します 17

延長ランプ 14
点滅…消し忘れ消火装置による消火予告中です

使用前の準備

本体を取り出し、給油タンクを引き出す

同梱されているチラシ類もよくお読みください。

●各部の包装部材を全て取り除いてください。詳しくは箱上面の「開梱方法」をお読みください。
●箱、包装部材は、収納時に必要ですので大切に保管してください。

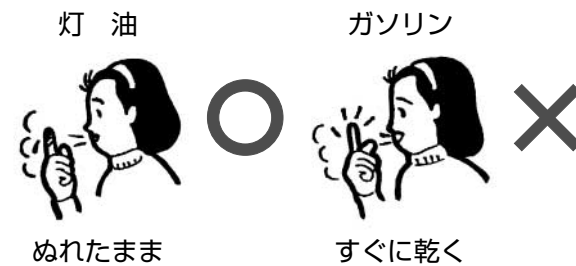
次のことは、工場での燃焼テストによるもので異常ではありません。
●油受け皿に少量の灯油が残っている。
●オイルフィルタがぬれている。
●温風吹出口より見える燃焼筒（炎を囲んでいる筒）が変色している。

燃　料

燃料は灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。

ガソリン、変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水のまじった灯油など）は、絶対に使用しないでください。
●ガソリン、シンナーなど、揮発性の高いものを使用すると、火災の原因になります。
●変質灯油、不純灯油を使用すると、異常燃焼や故障のおそれがあります。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息を吹きかけます。
●火の気のない場所でおこなってください。

灯油の保管のしかた

灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
直射日光が灯油を変質させるため、光のとおりにくい着色したポリタンク（灯油用）を使用してください。

変質灯油・不純灯油とは

変質灯油

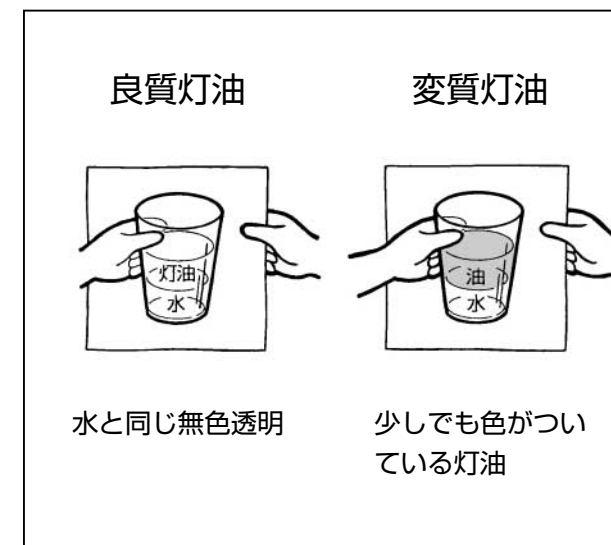
●昨シーズンより持ち越したもの
●日光のあたる場所で保管したもの
●高温の場所で保管したもの
●容器のふたをあけて保管したもの
●乳白色のポリ容器で保管したもの

ひどく変質した灯油は、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。

不純灯油

●灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油など）がほんの少しでも混入したもの
●水やごみが混入したもの
●灯油添加剤、燃焼促進剤などを添加したもの

変質灯油の見分けかた

コップに水を入れ、その上に灯油を入れて、背後に白紙をあてます。

変質灯油・不純灯油を使用すると

気化器にタールがたまり、つぎの原因になります。

●点火しない
●点火しないで白煙が出る
●使用中に消火する
●においがひどい

変質灯油・不純灯油を使用したとき

●給油タンク、油受け皿の悪い灯油を抜きとり（23ページ参照）、良質の灯油で内部を２～３回洗ってください。

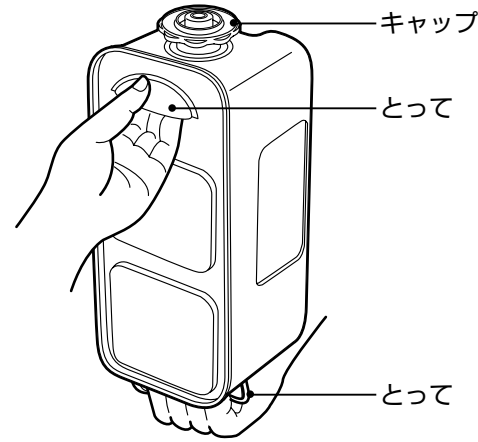
●それでも効果がないときは、気化器のクリーニングをおこなってください。（24ページ参照）

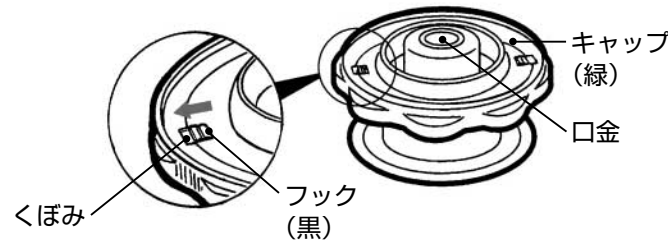
●サービスを依頼するときはお買い上げの販売店にご相談ください。

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料となります。

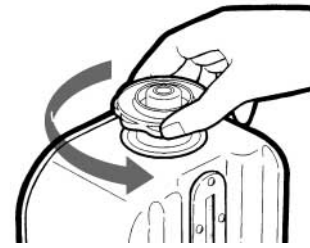
使用前の準備

給油は必ず消火してからおこなってください。

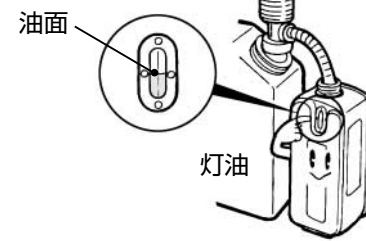
給油タンクの持ち運びには、上下2つあるとってを利用してください。
キャップを持って持ち運びをしないでください。キャップが外れるおそれがあります。

給油口口金の締めつけについて

給油口口金にキャップが付いておりますので、キャップの外側を持って回すと手が汚れにくく、口金がまわしやすくなります。
口金が締まるとキャップの外側部が回転して、バネの力で「カチッ、カチッ」と音がして口金が締まったことを知らせます。
締めつけがゆるいのではと感じたときや、口金を更に締めたいときは、キャップ内側のくぼみとフックの位置を合わせ、フック（２ヶ所）を外側にスライドさせるとキャップの回転がロックされ、口金を更に締めつけることができます。（ただしこのときは「カチッ、カチッ」音はしなくなります。）

●この給油口口金とオイルフィルタは専用部品です。他のストーブには使用しないでください。
油が出なかったり、油があふれたりして危険です。
●セット後、本体を持ち運んだり、ゆすったりするとキャップの外側が灯油で濡れることがあります。

給油のしかた

1

給油タンクを取り出し、給油口口金を外す

●給油口口金にゴミ、糸くず、ホコリなど付着しないようにご注意ください。

2

給油する

●油量計の中央に油面がくるまで、市販のポンプで給油する。
●こぼれた灯油はよくふきとってください。

3

給油口口金を確実に締める

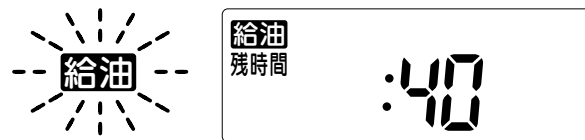
「カチッ、カチッ」と音が２～３回するまで口金を締め付けてください。
口金を下にしても油漏れがないことを確認してください。
●他のストーブの給油口口金を使用しないでください。

4

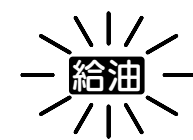
給油タンクをセットする

初めての使用やシーズン最初、油切れで消火したときなど、表示部に 給油 が点灯しているうちは、運転(入/切)ボタンを押しても点火しません。
給油 が消灯(約１分)してから点火してください。

給油のめやす（給油バックアップ運転）

●油がなくなると、表示部に 給油 が点滅し、約５秒間メロディ音が鳴ってお知らせします。点滅中はデジタル表示に残りの運転時間を表示し、約20～40分間運転できます。

点　滅

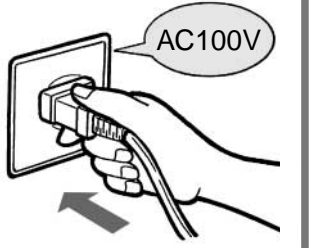
(例)残り運転時間：40分間

●消火する30秒前からメロディ音が鳴り、自動消火します。
消火すると、 給油 が点灯にかわります。

点　灯

● 残時間 が点灯中に、給油バックアップ運転に切替わったときは、残りの運転時間が変わる場合があります。
● 給油 が点滅中に電源プラグをコンセントから抜いたとき、停電したときは、給油バックアップ運転はできません。
●油切れのときに「ポコポコ」と電磁ポンプのから打ち音がする場合があります。

運転開始前の準備と確認

電源の接続

電源プラグをコンセントに確実に差し込む。

200Vのコンセントには絶対に差し込まないでください。機器が故障します。
ぬれた手で電源プラグにさわらないでください。
感電のおそれがあります。

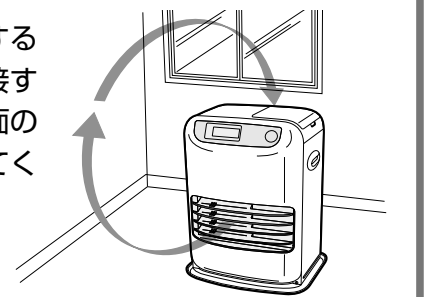
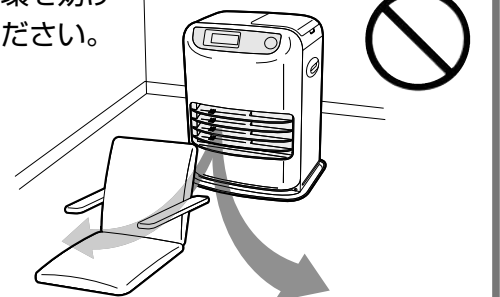
周囲の確認

周囲に可燃物や障害物がないかもう一度確かめる。

設置場所の確認

傾斜している場所や振動の激しい不安定な場所で使用すると、油タンクに灯油が入っているのに表示部に 給油 が点滅したり、対震自動消火装置が作動しやすくなります。
水平な場所に設置してください。

効果的に使用するために

効果的に使用するために外気に接する窓の下や壁面の近くに設置してください。

温風の循環を妨げないでください。

使用方法（これっきりボタン運転）

点　火

設定室温 現在室温
20 15

運転（入／切）ボタンを押す

設定室温と現在室温の差が３℃以上のときはオレンジに、3℃未満のときはグリーンに運転ランプが点灯します。

●デジタル表示に「設定室温」と「現在室温」を表示します。

●あらかじめ設定室温は20℃にセットされています。

●約95秒後に自動点火します。
点火時に約17〜22秒間消臭システムが作動し、消臭ランプが点灯します。

●点火後の約４分間は「中」燃焼します。

●おさえめ運転がセットされているときに現在室温が設定室温より高いときは、いったん運転を始めますが、おさえめ運転により消火します。（17ページ参照）

●設定室温は10〜30℃までセットできます。

●現在室温は8〜34℃まで表示します。

速暖運転

点火時の室温が低い（約15℃以下）ときは、自動的に速暖ランプが点灯し、しばらく若干高い熱量で運転します。

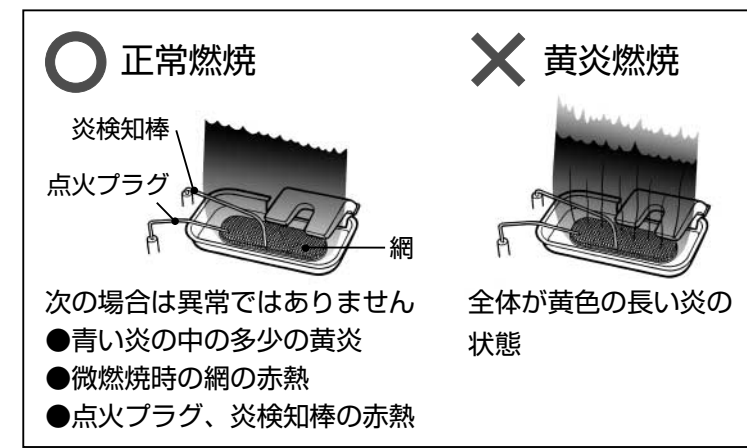
●速暖運転は、お部屋の温度が設定室温まで暖まるか、または、お部屋の温度が暖まらない場合でも点火後１時間経過すると自動的に解除されます。

●次の場合は速暖運転はしません。
タイマー運転中、給油バックアップ運転中、おさえめ復帰後の運転中、微燃焼運転選択中。

炎確認窓から炎の状態を確認してください

〇 正常燃焼　　✕ 黄炎燃焼

次の場合は異常ではありません
●青い炎の中の多少の黄炎
●微燃焼時の網の赤熱
●点火プラグ、炎検知棒の赤熱

全体が黄色の長い炎の状態

黄炎燃焼のときは次の処置をしてください

●換気する。

●フィルタ（燃焼・温風空気取入口）、温風吹出口のほこりをとる。

●変質灯油・不純灯油を使用したときはクリーニングをする。（24ページ参照）

処置後も黄炎燃焼するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

次のような状態は異常ではありません

■点火しない

初めての使用やシーズン最初、特に寒いときは、白煙が出てデジタル表示に[C 11]、[C 12]、[C 13]が点灯することがあります。すぐ運転（入／切）ボタンを押し、温風ファンが停止してから再度運転（入／切）ボタンを押してください。

■炎が赤くなる

超音波式の加湿器を使用すると、炎の色が赤くなります。水に溶けているカルシウム分が燃えるためです。

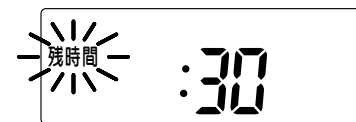
消　火

運転（入／切）ボタンを押す

●運転ランプ、デジタル表示が消灯し、消火します。
同時に消臭システムが作動して消臭ランプが点灯します。
消臭ランプは約２分40秒後に消灯します。
炎確認窓から消火したことを確認してください。

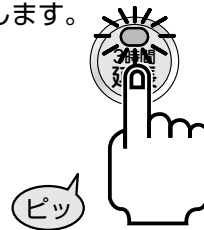
●温風ファンは、運転（入／切）ボタンを押したあといったん停止し、その後約45秒間送風し、余熱を放出して停止します。

消し忘れ防止のため、点火３時間後自動消火します

消火30分前にメロディ音が５秒間鳴り、表示部に[残時間]が点灯して、デジタル表示に残りの運転時間を表示します。

（例）残り運転時間：30分

消火30秒前からメロディ音が鳴り、延長ランプが点滅します。
消火すると運転ランプ、延長ランプが消灯し、タイマーランプが点滅します。

運転を延長するとき

延長ボタンを押します。
延長ランプが５秒間点滅した後、消灯します。

●押したときから運転を３時間延長します。

消火後、再運転をするとき

運転（入／切）ボタンを押し、タイマーランプ消灯後、再度運転（入／切）ボタンを押してください。

次のことは、必ずお守りください

白煙や強いにおいが出たり、過熱防止装置が作動することを防ぐためです。

●電源プラグを抜いて消火しない。

●電源プラグは、消火して「カチッ」と音がするまで抜かない。

（電源プラグを抜くと現在時刻・タイマー運転時刻・設定室温のセットなどが解除され、初期セットに戻ります。再セットしてください。）

停電や地震があったとき

安全装置が作動して運転を停止します

■停電があったとき

現在時刻・タイマー運転時刻・設定室温などの記憶が解除されますので、再セットしてください。

■地震（強い衝撃や傾き）があったとき

デジタル表示に[C 03]を表示します。

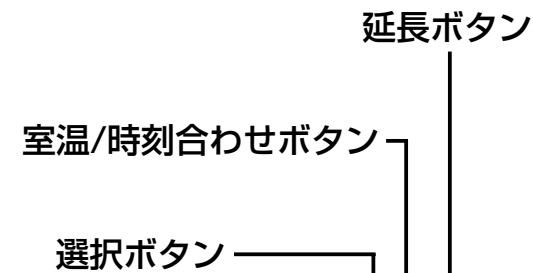
●運転（入／切）ボタンを押すとデジタル表示は消えます。

●再運転をするときは、周囲の安全を確認してください。

使用方法（お好み設定）

お好みに応じてセットします。

室温の調節

室温ボタンを押す

押すごとに１℃づつ変わります。

●デジタル表示の設定室温を見ながらセットします。設定室温は10℃～30℃までセットできます。

●一度セットすれば記憶しています。

●現在室温は８℃～34℃まで表示されます。

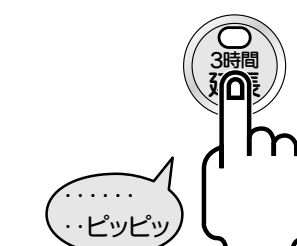
●お部屋の温度が７℃以下（または35℃以上）の場合でも、表示は８℃（または34℃）までしか表示されません。

●現在室温はお部屋の温度の目安です。温度計と一致しないことがあります。部屋の大きさや設置場所によっては、設定室温まで上昇しません。

[おさえめ運転]

●室温が設定室温より約３℃上がると消火し、設定室温まで下がると点火して、室温の上がり過ぎを防ぎます。

●春先や秋口など、外気温が高いときや、小さな部屋で使用すると、室温が設定室温より上昇し、点火と消火をくり返します。このとき少しにおいます。

[セットのしかた]

停止中に延長ボタンを５秒以上押し続けます。ブザーが２回鳴ったら、セットされました。

●電源プラグを抜くと解除されます。

●おさえめ運転がセットされているときにおさえめ運転のセット操作を行ったときは、ブザーが鳴りません。

微燃焼運転

設定室温、現在室温などに関係なく、「微」燃焼で運転します。

〈セットのしかた〉

運転中に選択ボタンを押してセットします。

●セットされると表示部に 微燃焼 が点灯します。

●解除するときは、運転中に選択ボタンを押すと、微燃焼 が消灯し、解除されます。

●初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、自動的に通常運転のモードになります。

●運転停止時はセット及び解除はできません。

●使用条件により、室温が設定室温まで上がらず肌寒いと感じるときは、微燃焼運転を解除して通常運転で使用してください。

使用方法（お好み設定）

お好みに応じてセットします。

急速点火

点火時間を早めたいとき使用します。

急速点火は、お出かけ前などにあらかじめセットしておくと、運転（入／切）ボタンを押してすぐに点火します。

〈セットのしかた〉

あらかじめ停止時に選択ボタンを押します。

- ●運転（入／切）ボタンを押す２分以上前にセットしてください。
- ●表示部に 急速点火 が点灯し、予熱します。
- ●セット後、運転（入／切）ボタンを押すと約15秒で点火します。（通常運転は約95秒）
- ●一度運転すると急速点火は自動的に解除され、表示部の 急速点火 も消灯します。
- ●セット後運転しないで24時間経過すると自動的に解除されます。
- ●急速点火セット中に選択ボタンを押すと、セット状態が24時間更新されます。

- ●急速点火セット中にタイマーボタンを押すと、急速点火は自動的に解除され、タイマー運転に切り替わります。
- ●急速点火を解除するときは、タイマーボタンを押してから運転（入／切）ボタンを押してください。
- ●予熱中は約65Wの電力を消費します。
- ●運転中はセットできません。

チャイルドロック

お子様のいたずら操作を防止します。

〈セット時〉　〈解除時〉

〈セット（解除）のしかた〉

選択ボタンを３秒以上押す。

- ●ロック（解除）され、表示部に チャイルドロック が点灯（消灯）します。
- ●停止時にロックすると…
  すべての操作ができなくなります。
- ●運転中にロックすると…
  運転（入／切）ボタン（消火）、延長ボタン（運転の延長）のみ操作できます。

- ●次の場合はチャイルドロックは解除しません。
  - ●対震自動消火装置が作動したとき。
  - ●ロック中に消火操作したとき。
  - ●タイマー運転時に自動消火したとき。
  - ●消し忘れ消火装置が作動したとき。
  - ●油切れで自動消火したとき。
  - ●不完全燃焼防止装置が作動したとき。
- ●再運転する場合は、チャイルドロックを解除してください。
  ただし、対震自動消火装置または不完全燃焼防止装置が作動したときは、一度運転（入／切）ボタンを押してからチャイルドロックを解除してください。

使用方法（タイマー運転）

●タイマーは点火専用です。

セットした時刻になると運転を開始し、設定室温になるようお部屋を暖めます。

●点火後、1時間運転すると、自動的に消火します。

タイマーランプが点滅し、運転ランプが消灯します。

現在時刻の合わせ方

(例)午後５時30分に合わせる場合

1 タイマーボタンを３秒以上押す

デジタル表示が点滅に変わります。

2 時刻合わせボタンを押し、時刻を合わせる

●(時)を押すと１時間づつ進みます。
(分)を押すと１分づつ進みます。
●押し続けると連続して進みます。

3 タイマーボタンをもう一度押す

デジタル表示が点灯に変わり、現在時刻がセットされます。

●初めての使用やシーズン最初、油切れで消火したときなど、表示部に 給油 が点灯している間は、現在時刻のセットはできません。
灯油を入れた給油タンクを本体にセットして、 給油 が消灯(約１分)してから現在時刻のセットをしてください。

●電源プラグを抜いたときや停電時には、現在時刻、タイマー運転時刻の記憶が解除されます。
そのときは再セットしてください。

タイマー運転

(例)午前６時30分に運転を始める場合

1 タイマーボタンを押す

●タイマーランプとデジタル表示が点滅し、デジタル表示に運転を始めたい時刻を表示します。

2 時刻合わせボタンを押し、運転を始めたい時刻を合わせる

●表示が点滅中に時刻を合わせてください。
●(時)を押すと１時間づつ進みます。
(分)を押すと１分づつ進みます。
●押し続けると連続して進みます。
●時刻を合わせたあと、タイマーランプとデジタル表示が点滅から自動的に点灯に変わると、タイマー運転がセットされます。
●時刻を合わせるまえに、表示が点滅から点灯に変わったときは１からやり直してください。

自動点火する

セットした時刻になると運転を始めます。
運転を開始すると、運転ランプが点灯し、デジタル表示は室温表示になります。
点火後、１時間経過すると、自動的に消火します。
消火30分前にメロディ音が５秒間鳴り、表示部に 残時間 が点灯してデジタル表示に残りの運転時間を表示します。
消火30秒前にメロディ音が鳴り、延長ランプが点滅します。
消火すると、運転ランプ、延長ランプが消灯し、タイマーランプが点滅します。

●初めてお使いになるときは、午前６時00分を表示します。

●セットした時刻は記憶されています。
同じ時刻で運転するときは、タイマーボタンを押すだけで運転できます。

●セットした時刻を変更したいときは、再セットしてください。

●運転中にタイマーボタンを押すと一度消火し、デジタル表示された時刻のタイマー運転になります。

●タイマー運転中に運転（入/切）ボタンを押すと、タイマー運転が解除され、消火します。

●タイマー運転で自動点火する前や、タイマー運転で自動的に消火した後、すぐに運転する場合は、運転(入/切)ボタンを押し、タイマーランプが消灯後、再度運転(入/切)ボタンを押してください。

●タイマー運転で点火後、延長ボタンを押すと、これっきりボタン運転になります。
タイマーランプは消灯します。

●タイマーボタンを押したときデジタル表示に 88:88 が表示された場合は、現在時刻がセットされていません。
現在時刻をセットしてからタイマー運転をセットしてください。

点検・手入れ

必ず消火し、本体が十分冷えてから、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

日常の点検・手入れ

- ●本体およびその周辺は、いつもきれいに掃除しておいてください。
  よごれたままで使用すると、正常に機能しません。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
- ●故障、破損したものは使用しないでください。
- ●バーナ部、電気部品、対震自動消火装置などは絶対に分解しないでください。
  修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

使用ごと

周囲の掃除

周囲に燃えやすいものがあったら取り除いてください。

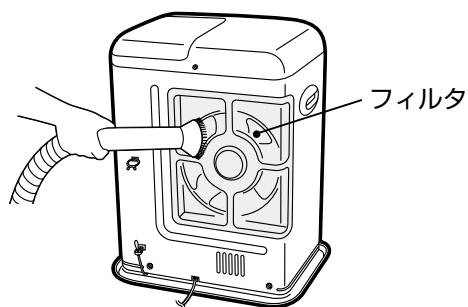
油漏れの点検

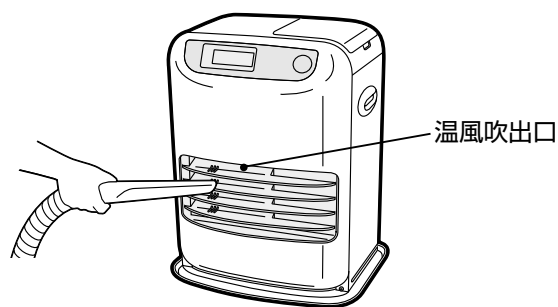
油だまり、油にじみがないかを確かめてください。
油漏れがある場合は、使用をやめお買い上げの販売店にご相談ください。

週に 1 回以上

フィルタ（燃焼・温風空気取入口）

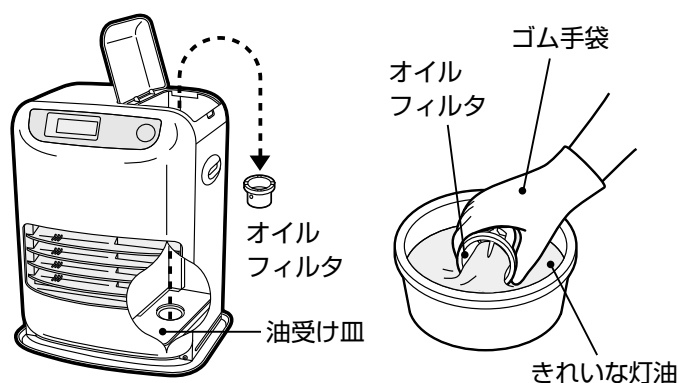
掃除機でほこりをよく吸い取ってください。
汚れたままでの使用は危険です。

- ●フィルタ（燃焼・温風空気取入口）が目づまりしているときは歯ブラシで掃除してください。

温風吹出口の掃除

温風吹出口に付着したほこりなどが焼け、著しく茶色に汚れることがあります。
中性洗剤を塗布してから2～3分後に歯ブラシでこすってから、よくふきとってください。

月に1回以上

オイルフィルタの掃除

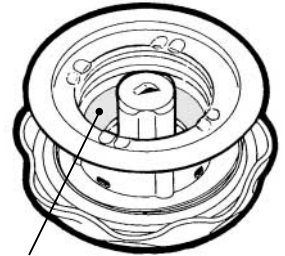
オイルフィルタにごみや水が付着していないか点検してください。付着しているときは取り出して良質の灯油で洗ってください。
汚れたままだと油がとおりにくくなり、点火ミスや途中消火の原因になります。

- ●洗うときに使った灯油の処分は、灯油をお買い上げになった販売店にご相談ください。
- ●オイルフィルタの点検の際は、油受け皿の中も点検してください。油受け皿の中にごみや水がたまっている場合は、油受け皿の油抜き、水抜きをおこなってください。

シーズンに１回以上

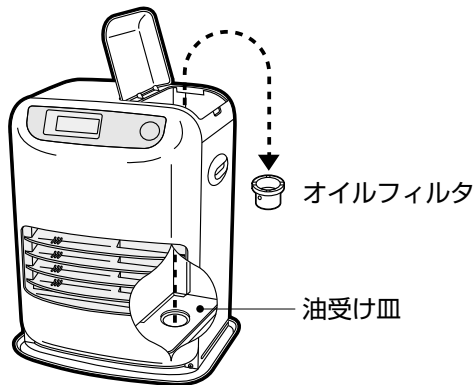
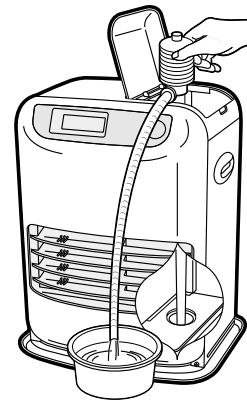
対震自動消火装置のテスト

運転中、本体を水平にゆすって、確実に消火するか確かめてください。
作動するとデジタル表示に C03 を表示し、運転を停止します。

給油タンクの点検

給油口口金のゴムパッキン部にゴミなどが付着していないか確かめてください。ゴミが付着しているときは、布などで取り除いてください。

油受け皿の油抜き・水抜き

油受け皿にごみや水がたまると、給油タンクに灯油が入っていても点火しません。
つぎの要領で油受け皿の油抜き・水抜きをしてください。
オイルフィルタにごみや水が付着しているときは、オイルフィルタの掃除をしてください。
●変質灯油、不純灯油を誤って使用したときは、油受け皿の油抜き・水抜きをした後、良質の灯油で洗ってください。

1 給油タンクを取り出し、油受け皿からオイルフィルタをはずす

2 市販の給油ポンプで灯油(水)を抜きとる

3 抜けきらなかった灯油(水)は、布などでふきとる

●こぼれた灯油はよくふきとってください。

4 もとどおりオイルフィルタを取り付け、給油タンクをセットする

点検・手入れ

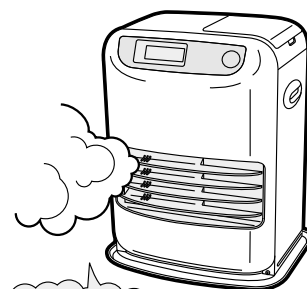
クリーニング

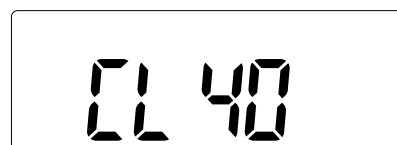
次の場合は、気化器のクリーニングをおこなってください。

●換気が十分でフィルタに目詰まりがなく、カーテンなどでふさがれてないのに、表示部に［換気］が点滅または点灯しているとき。

●デジタル表示に［C 11］、［C 12］、［C 13］が表示されたときや、においが強いとき。

●点火しにくいときや、炎が小さいとき。

クリーニング中は運転しませんが、必ず屋外でおこなってください。
延長コードを準備すると便利です。

1 良質の灯油に交換する

①油受け皿の灯油を抜きます。（23ページ参照）
②給油タンクを良質の灯油ですすぎ、良質の灯油を給油して本体にセットします。

2 クリーニングをする

①電源プラグをコンセントに差し込みます。
②クリーニングスイッチを細い棒で押します。

●クリーニング時間は約40分です。
開始とともにデジタル表示に［CL 40］を表示し、その後１分単位で残り時間を表示します。
●クリーニングが完了するとブザーが鳴ります。

3 クリーニング後すぐに運転ボタンを押して30分ほど運転する

●すぐに運転しないと故障の原因や、クリーニングの効果が十分得られない場合があります。

今までお使いの灯油の変質がひどい場合は、クリーニング直後の運転で点火しなかったり、点火してもすぐに消火することがあります。
この場合は、10分ほど待ってから、もう一度点火してください。
それでも具合が悪いときは再度クリーニングをおこなってください。
それでも正常に戻らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検

長期間ご使用になりますと使用条件などにより機能を十分発揮できなくなることがあります。未然にトラブルを防ぐため機器の点検が必要です。２シーズンに１回程度、シーズン終了後などにお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL.03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)〕などのいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

部品交換のしかた

電流ヒューズ・温度ヒューズの溶断や、長期間の使用による部品の劣化などで部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店・または最寄りの「日立家電品ご相談窓口」にお問い合わせいただき、(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）のいる販売店などに依頼されることをおすすめします。

《長期間の使用により劣化しやすい部品》

気化器、バーナ、フレームロッド、電磁ポンプ、オイルフィルタなど

《変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品》

気化器、バーナ、電磁ポンプ、オイルフィルタなど

●交換部品は、必ず日立石油ファンヒーター用の純正部品をご使用ください。

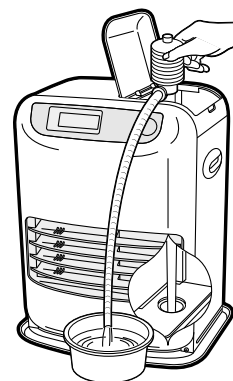
●部品交換についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

保　管（長期間使用しない場合）

電源プラグをコンセントから抜き、次の要領でお手入れしてから保管してください。

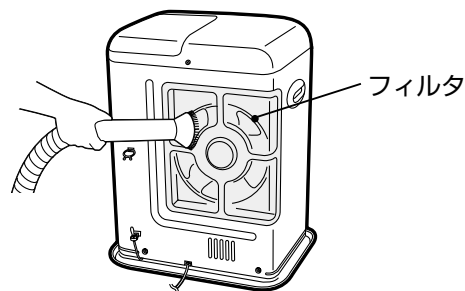
1 油を抜きとる

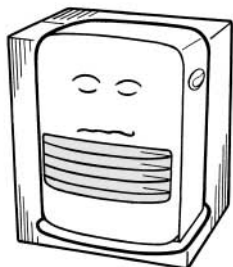
●給油タンクは空にして、ごみや水が残らないように内部をきれいな灯油で洗ってから乾燥してください。

●「油受け皿の油抜き・水抜き」(23ページ)を参照して、灯油(水)を抜きとってください。
灯油を抜かないと、保管時にこぼれたり、にじみ出たりして危険です。

2 掃除する

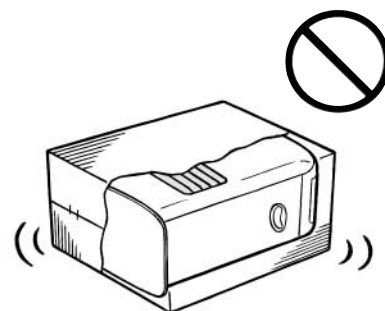
●本体やフィルタ(燃焼・温風空気取入口)、オイルフィルタ、温風吹出口などの掃除をしてください。

●本体内部の清掃も必要です。
お買い上げの販売店に依頼してください。（有料です）

●具合の悪いところは、保管前に修理しておいてください。
(28ページ参照)

3 保管する

●本体をダンボール箱などにいれ、湿気のない場所に保管してください。

お願い

本体を逆さにしたり、横にしたり、傾けたりして保管しないでください。

●保管中に抜けきれなかった灯油が漏れて、火災の原因になります。

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常が生じたとき安全装置が作動して自動消火し、デジタル表示とランプ表示でお知らせします。運転(入／切)ボタンを押し(表示は消えます)、処置をしてください。原因がわからないときや、処置をして点火操作をしても運転しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
(お買い上げの販売店に修理を依頼するときは、表示内容をお知らせください。)

表 示〔安全装置〕	原 因	処 置
C 11 を表示 〔点火安全装置、燃焼制御装置の作動〕	●点火ミス(初めての使用やシーズン最初など)	●もう一度点火操作をする
	●不良灯油(変質灯油)を使用したとき	●クリーニングをする
	●水が混入した灯油を使用したとき	●水抜き(油抜き)をする
	●電磁ポンプ等の電気部品が故障したとき	●修理を依頼する
C 12、C 13 を表示 〔燃焼制御装置、過熱防止装置の作動〕	●温風吹出口がふさがれたとき	●障害物を取り除き、本体が冷えるまで待つ
	●フィルタ(燃焼・温風空気取入口)にほこりがたまったり、カーテンなどでふさがれたとき	●カーテンなどの障害物やほこりを取り除き、本体が冷えるまで待つ
	●不良灯油(変質灯油)を使用したとき	●クリーニングをする
	●油切れにより途中消火したとき	●給油する
	●燃焼部にシリコン酸化物が付着したとき	●修理を依頼する
換気 が点滅・点灯 〔不完全燃焼防止装置、燃焼制御装置、過熱防止装置の作動〕	●温風吹出口がふさがれたとき	●障害物を取り除き、本体が冷えるまで待つ
	●フィルタ(燃焼・温風空気取入口)にほこりがたまったり、カーテンなどでふさがれたとき	●カーテンなどの障害物やほこりを取り除き、本体が冷えるまで待つ
	●換気不足のとき	●換気をする
	●壁に近づけすぎているとき	●壁から離し、本体が冷えるまで待つ
	●不良灯油(変質灯油)を使用したとき	●クリーニングをする
	●送風機が故障したとき ●過大燃焼したとき ●燃焼部にシリコン酸化物が付着したとき	●修理を依頼する
C 03 を表示 〔対震自動消火装置の作動〕	●地震(震度５以上)のとき ●強い振動や衝撃を与えたとき ●本体を傾けたとき	●本体と周囲に異常がないことを確かめる ●振動のない水平な場所で使用する
すべてのランプ及び表示が消灯 〔停電安全装置の作動〕	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	●再通電後、本体が冷えるまで約10分間待って、点火操作をしたり、タイマーなどをセットしなおす
タイマーランプが点滅 〔消し忘れ消火装置の作動〕	●点火後、または延長ボタンを押したときから約３時間経過したとき	●運転(入/切)ボタンを押し、タイマーランプ消灯後、再度運転(入/切)ボタンを押す
給油 が点滅・点灯	●給油タンクの油がなくなったとき	●給油する
	●オイルフィルタを付け忘れたとき	●オイルフィルタを油受け皿に取付ける
H01……………H 11 又は F05 を表示	●炎検出部などが故障したとき ●気化器部などの温度異常を検知したとき ●その他機器が故障したとき	●修理を依頼する

故障かな？と思ったら

修理・サービスを依頼される前に次の表に従ってもう一度お確かめください。
処置をしても異常がなおらない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

	現象	原因	処置方法
点火時・消火時	●運転ボタンを押しても運転ランプが点灯しない ●点火しない	●電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
		●チャイルドロックがセットされている（チャイルドロック表示が点灯）	チャイルドロックを解除する
	●初めて使用する時やシーズン初めなど、点火時に白煙やにおいが出る（点火ミス後の再点火時など）	●耐熱塗料やほこりが焼けるためです	異常ではありません しばらくの間、お部屋の換気をして使用する（１時間ほど換気してにおいがする場合は販売店にご相談ください）
		●灯油の気化ガスがバーナに十分にゆきわたっていないためです	
	●点火時・消火時に「カチッ」と音が出る	●電磁弁（ソレノイド）の作動音です	異常ではありません そのまま使用してください
	●点火時に「ジー」と音がする	●着火するための放電音です	
	●点火時に「ゴトゴト」音がする	●電磁ポンプ内に空気が混入しているためです	異常ではありません （点火ミスのときはもう一度点火する）
燃焼時	●におう	●灯油の気化ガスが出るため、多少においます	異常ではありません しばらくの間、お部屋の換気をして使用する（１時間ほど換気してにおいがする場合は販売店にご相談ください）
		●不良灯油（変質灯油）を使用したためです	良質の灯油に交換して、クリーニングを行う
		●油受け皿に水がたまっている	オイルフィルタの清掃を行い、給油タンク、油受け皿の水抜きをする
		●油がこぼれたままになっている	乾いた布などできれいに拭き取る
	●黄炎になる・ススがでる ●炎が大きくならない ●炎が飛ぶ	●不良灯油（変質灯油）を使用したためです	良質の灯油に交換して、クリーニングを行う
		●フィルタ（燃焼・温風空気取入口）にほこりがつまったり、カーテンなどでふさがれたためです	カーテンなどの障害物やほこりを取り除く
		●温風吹出口がふさがれたためです	障害物を取り除く
		●換気不足です	換気する
	●白煙が多量に出る	●不良灯油（変質灯油）を使用したためです	良質の灯油に交換して、クリーニングを行う
	●使用中に消火する	●消し忘れ消火装置が作動したためです（タイマーランプ点滅）	異常ではありません （再運転してください）
		●不良灯油（変質灯油）を使用したためです	良質の灯油に交換して、クリーニングを行う
		●フィルタ（燃焼・温風空気取入口）にほこりがつまったり、カーテンなどでふさがれたためです	カーテンなどの障害物やほこりを取り除く
		●温風吹出口がふさがれたためです	障害物を取り除く
	●燃焼部の一部が赤熱する	●炎で熱せられるためです	異常ではありません そのまま使用してください
	●きしみ音がする	●点火時、消火時、熱量の切り替わり時に金属が加熱、冷却しておこる膨張、収縮音です	
	●「シュー」音がする	●気化した灯油がバーナ内に噴出する音です	
	●「コトコト」音がする	●電磁ポンプが灯油を吸い上げる音です	
その他	●油漏れがある	●給油タンクの給油口口金がゆるんでいる	給油口口金をしっかり閉める
		●給油口口金のゴムパッキンにごみが付着している	ゴムパッキンのごみを取り除く
		●送油経路からの漏れがある	販売店に修理を依頼する
	●給油タンクに灯油が入っているのに点火しない、給油表示が点滅、点灯する	●灯油に水が混入している	給油タンク、油受け皿の水抜きをする
		●オイルフィルタに水やゴミが付着し、目詰まりを起こしている	オイルフィルタの清掃を行い、給油タンク、油受け皿の水抜きをする
	●ときどき「ボコボコ」と音がする	●給油タンクから油受け皿に灯油が流れ出る音です	異常ではありません そのまま使用してください

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（裏表紙）

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
●保証期間は、お買い上げの日から１年です。

修理を依頼されるときは 出張修理

修理を依頼される前に「故障・異常の見分け方と処置方法」（26ページ）および「故障かな？と思ったら」（27ページ）を調べていただき、なお異常のあるときは、故障や事故防止のため、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品　　　名	日立石油ファン ヒーター
型式の呼び	OVF-H30A
お買上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※型式の呼びは、本体側面の銘板に表示されています。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられない場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後６年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
この製品の製造時期は、本体側面の銘板に表示されています。

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等設備費・一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合もあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または30ページの「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

お願い

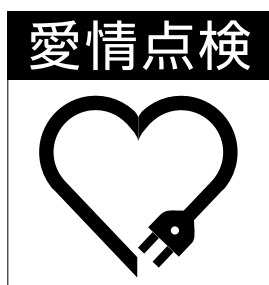
●**輸送するときは**
ご転居または修理などでストーブを輸送するときは、必ず給油タンク・油受け皿内の灯油を抜き取ってください。（23ページ参照）
灯油が入ったままですと、輸送中に灯油が漏れて、他の輸送物を汚すおそれがあります。

●**廃棄するときは**
ストーブを廃棄処分するときは、必ず給油タンク、油受け皿内の灯油を抜き取ってください。（23ページ参照）
灯油が入ったまま廃棄すると危険です。

仕　様

型式の呼び		OVF-H30A（OVF-G30A）
種類		気化式、強制通気形、強制対流形
点火方式		高圧放電点火・自動点火
使用燃料		灯油（JIS１号灯油）
燃料消費量	最大	0.313L/h
	最小	0.052L/h
暖房出力	最大	3.00kW（2,580kcal/h）
	最小	0.50kW（ 430kcal/h）
発熱量（入力）	最大	10,800kJ/h（2,580kcal/h）
	最小	1,800kJ/h（ 430kcal/h）
騒音※（正面）	最大	36dB
	最小	21dB
油タンク容量		5.0L
燃焼継続時間		約16.0時間（「強」燃焼時）
暖房のめやす		木　造：８畳（13.0m²）
		コンクリート：11畳（18.5m²）
外形寸法		（高さ）453mm×（幅）350mm×（奥行）305mm（置台を含む）
質量（重量）		8.2kg
電源電圧及び周波数		単相100V　50/60Hz
定格消費電力（50/60Hz）	最大	550/550W（点火時）
	燃焼時	30/27W
電流ヒューズ		７A（アンペア）
温度ヒューズ		172℃
安全装置		不完全燃焼防止装置、燃焼制御装置、対震自動消火装置、過熱防止装置、点火安全装置、停電安全装置、消し忘れ消火装置

※騒音（正面）の数値はJIS測定法（JIS S3031）に基づく正面値です。

愛情点検

長年ご使用の石油ファンヒーターの点検を！

●石油ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後６年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？	●ときどき点火しないことがある。 ●点火する時、白煙が出るようになった。 ●強燃焼でも暖まらなくなった。 ●その他の異常・故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社　日立ホームテック　　株式会社　日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋２丁目15番12号　　電話（03）3502-2111

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当する
センターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町１－１－４５
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

−01C−

日立石油ファンヒーター保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

型　名	OVF-H30A	※お買い上げ日	保証期間(お買い上げ日から)
		平成　年　月　日	本体：１年
※お客様		※販売店	
お名前		販売店名・住所・電話番号	
ご住所	〒 電話　（　　）	電話　（　　）	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、ガス害、塩害、公害、その他の環境要因や異常電圧によって生じた故障または損傷。
　（ニ）灯油（JIS １号灯油）以外の油や水が混入した不純灯油、変質灯油、ガソリンなどの異種油を使用された場合に生じた故障または損傷。
　（ホ）車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
　（ヘ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
　（ト）本書のご提示がない場合。
　（チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　（リ）部品の紛失（オイルフィルタ、給油口口金など）。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書の30ページの日立家電品のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
　したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書の30ページの日立家電品のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の28ページの保証とアフターサービスをご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立製作所

〒105－8430　東京都港区西新橋２－15－12　電話（03）3502－2111

NH318486-01　2001-07(M)3